

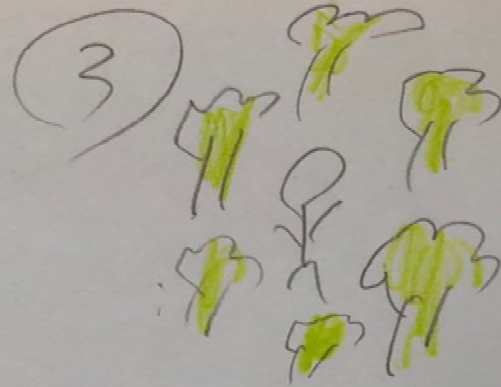
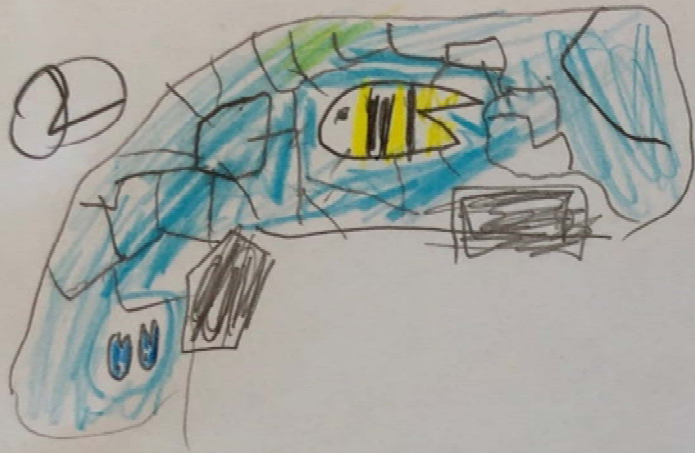
ぬみんなに教えてあげることが難しいです。

そこでぼくは、「みんなでPRする映画をつくれば、教えられんじゃないか」という考えが思い浮かんでこの企画を提案しました。ぼくは、今年2月に映画『あまのがり』の最新監督主催のシネマ・アクティブラーニングに参加しました。その時、ぼくたちのテーマにしたのは、『バガ傷ついたらまっぼく』が旅をしながら元気を取りもどすというものでした。3分間の映画をつくるのに、5時間かかりました。その時、撮った草花や木々、風にはかれてころがるまっぼくりや葉っぱ。遠くに見える桜島を背景にして、流れる雲やキラキラ光る海に浮かぶ船の姿など。今まで何度も見てきた風景のはかなのにそのときはとても新鮮に感じました。と同時に「おばあちゃんのいる佐多」なら、もっともときれいな風景が撮れるのになあ。みんなに見せてやりたいなあ」と強く思いました。

—そこで、企画した具体的な内容は、まがみ

んなに教えたハけれど広めるのが難しい!と
いうところをインターネットや幼稚園、小、
中学校への案内、テレビや新聞での広報など
を使って募集します。次にそこへ行きたい人
を5家族くらい募集します。そして予定した
日にだいたひ3泊4日くらい滞在します。た
び3泊4日にすかとハいうと、休みが取りやす
ハし、自然や文化、食べ物などを経験する
にはじゅうぶんな時間だと思っただけです。
そして、体験するときには約束があります。そ
れは、スマホやゲームは緊急時以外では使わ
ずに、地元の人たちとおしゃべりして、コミュ
ニケーションをとってほしいことです。なぜ
かこうすること心で地元の人たちだけにと、
家族とも絆が深まると考えたからです。
映画づくりでは、体験して楽しかったこと
やおもしろかった文化や、きれいな自然、お
いしかった食べ物などで映画をつかってほし
ハと思ひます。それを見た人が興味をもって
そこへ行こうと思っただければこの企画は成

④



④

